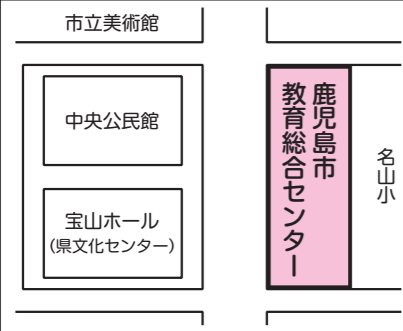


「ネット世代の人間関係力」を育てていくためには、それぞれの「相談窓口」を知り、うまく活用していくことも大切です。

学校以外にも多くの相談窓口があります。目的に応じて、ご相談ください。

市教育相談室

学習、進路、不登校、いじめ、子育てなど教育に関する相談



月曜日～金曜日 面接相談 9:30～17:00
電話相談 9:30～20:00
土曜日 面接・電話相談とも9:00～12:00

※面接相談は、事前に申し込んで下さい。

☆ 電話 226-1345 (教育全般)

★ 電話 224-1179 (いじめ相談)



かごしま教育 ホットライン24

学習、進路、不登校、いじめ、子育てなど教育に関する相談
(24時間対応)

電話 0120-783-574 (フリーダイヤル)
電話 099-294-2200 (携帯電話接続可)

県中央児童 相談所

18歳未満の子どもに関するさまざまな相談

電話 099-264-3003 8:30～17:15 (月～金)

県精神保健福祉 センター

思春期の精神保健に関する相談

電話 099-218-4755 8:30～17:00 (月～金)

かごしま子ども・若者 総合相談センター

ひきこもり、ニート、フリーター、不登校などの相談

電話 099-257-8230 10:00～17:00 (火～日) 月・年末年始は除く

少年サポート センター

非行問題、子どもが被害に遭った、家出など少年に関する相談

電話 099-252-7867 8:30～17:15 (月～金) 年末年始は除く

県自殺予防 情報センター

自殺や遺族(遺児)等に関する相談

電話 099-228-9558 9:00～12:00、13:00～16:00 (月・木)

市消費生活 センター

消費者トラブル、多重責務などの相談

電話 099-252-1919 9:00～17:15 (月～金) 年末年始は除く

いじめ問題・人間関係づくりリーフレット

人間関係力



平成29年度「ニコニコ月間作品コンクール」優秀賞 明和中学校 3年 堂園七海

ネット世代に求められる

情報化社会の中で、現代の青少年は、生まれた時からインターネットや携帯電話等のICTメディアに囲まれて育っており、その影響を少なからず受けながら生活しています。

市青少年問題協議会では、「ネット世代の青少年に求められる人間関係力とは何か」をテーマに議論してきました。

その中で、「自分を大切にできる力」を根底にして、「関係をつくる力」、「関係を修復する力」、「助けを求める力」、「関係を調整する力」という4つの力を学校や家庭、地域で育てていくことが大切だということになりました。

鹿児島市青少年問題協議会

鹿児島市教育委員会

またあした えがおであいたい おともだち

原良小学校 1年 植野 聖音

関係をつくる力

「関係をつくる力」とは、人と人が交流していくきっかけとなる「あいさつ」をするなど、他者に関心を持ち、他者を知って、他者と関わろう・関わっていかうとする力のことです。

関係をつくり、交流を進めることで、他者の考えや思いに触れ、多様性を受け止めて、自己実現を果たしていくことのきっかけとなります。



家庭の中で、「挨拶」をする習慣をつけましょう。

学校の中で、「挨拶」をする意味や効果を学びましょう。

地域の中で、「挨拶をかけ合う」経験を多く積みましょう。

「あいさつ」を子どもが返さなかったとしても、大人が「あいさつをし続ける」ことで、子どもは、「あなたのことを大事に思っている」とのメッセージを受け取るにつながります。

「ごめんなさい」と言えるすこやかな「いいよ。」と受け入れる心の広さが大切です。

「あなたは大切な人です。」 自分を大切にできる力

自分を大切にすることは、自分を甘やかすことではない。自分の心と体を大切に思い、生きていくということ。



学校行事等を通して、友達と「協力する心」を育みましょう。

「手伝い」を経験し、「ありがとう」と返す機会をつくりましょう。

地域の中で、「協力して参加する」経験を多く積みましょう。

「手伝い」をすることや共に協力してやりとげる経験を通して、他者を信じることにつながり、いざという時に「助けを求める」ことができるようになります。

「大丈夫?」「何か私に手伝えることがあるかな?」「もっとこうしたらどうかな?」その一言が、人を元気にします。



けんかした さっきはごめんね こちらこそ

吉野小学校 4年 大淵 楓

関係を修復する力

「誤解やすれ違い」等から、人と人との関係が壊れてしまうことがあります。

「関係を修復する力」とは、壊れたり、ぎくしゃくしたりした関係を「ごめんね。」と謝るなどして、関係を元に戻していく力のことです。「関係を修復する」ことで、仲直りすることができ、これまでよりも深く、強固な関係づくりにつながっていきます。

「悪かった時には、ごめんなさい。」「いいよ。」と言える機会をもちましょう。

「謝ること」、「受け入れること」の大切さを学びましょう。

地域行事等に参加し、色々な直接経験を積みましょう。

ひと言で 変わるよ 君と 友の未来

武中学校 1年 松枝 夏美

関係を調整する力

「関係を調整する力」とは、誰かが困っていて、沈んだ表情をしていることに気付いて「大丈夫?」「何かあった?」等、他者の変化や心情に気づき、関わっていかうすることができる力のことです。二者間でうまくいかないときには、その間に入って、一方をなだめたり、その場をおさめたり、解決のアイデアを出したりすることで、人間関係がより豊かになってきます。

家族の中で、「自分ができること」、自分の役割を果たしましょう。

学級集団の中で、自分の役割を考え、やり遂げる経験を積みましょう。

異年齢集団の中で、「役割」と「責任」を果たしましょう。